

令和3年7月17日

芦屋市企画部市民参画・協働推進室
室長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 Vol.1 事業報告書

- 1 実施日：7月16日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：19名（会場参加：9名、オンライン参加：10名）
- 4 講 師：中嶋 雅美 氏（SDGs 公認ファシリテーター）
- 5 目 的：社会貢献活動に取り組む専門家、実践者の活動内容、実践内容を聞き交流を図ることで共感、関心を持ってもらい社会的起業への喚起を図る勉強会とする。
- 6 内 容：「実はあなたもやっている!?日常生活で取り組むSDGs」というテーマで、ゲストスピーカーからSDGsについての説明や活動の紹介の他、子どもたちの学び事例（中学校入試問題）を大人と一緒に考えるワークショップや意見交換を交えてSDGsを学習した。
- 7 アンケート内容（11件の回答を記載）
 - ・とても役立った…7件
 - ・少し役立った …4件（コメント）
 - ・勉強になりました。
 - ・ベーガンがSDGsと関係しているってことが驚きだった。
 - ・自分が社会に貢献したいという気持ちとSDGsに結び付いているかという意識の持ちようは必ずしも一致しないと思った。
 - ・とても楽しい充実した時間でした。
 - ・海のプラスチックごみ拾いを多勢でやりたいと思います。事例紹介をしてもらったアムステルダムの様ないい方法を教えて下さい。
 - ・先日、小・中・高校生と話をする機会があり、小学生は集会でSDGsをすごろくで体験し、内容は良くは覚えていないけれど、とても楽しかったとのこと。高校生は、難しそうと特に興味を示さなかった。SDGsを知ってもらうにはゲームが一番いいのかなと思いました。
 - ・少し時間が足りない感じで終わったので、次があるといいと思います。
 - ・高齢者の自分には、固定観念が覆る先進的な話を聞くことができ、とても刺激的であった。SDGsの取組みは世代別（レベル）な工夫も必要でないかと思う。

- ・地域の課題解決に対応させて、SDGs 目標達成への具体的なプロセスが知りたい。
- ・SDGs を継続テーマに掘り下げてほしい。
- ・海外の事例をもっと知りたいです。芦屋市で何か **Start** できないのでしょうか。
- ・最近、内外のニュースを見て、大変、憂えていたので、正しく確認できて、とてもよかった。一人の力は小さいですが、極力意識して生活していこうと思います。
- ・国連ビデオ、会場参加者の声など音切れが多い、問題の答えが事前に表示されるなど、正直、オンライン参加者は平たくいえば「はみご」状態だったのがとても残念でした。やはり、感染対策を十分に行った「会場参加」のみにするか、「オンライン」のみにするべきだった。
- ・「SDGs は国とかの問題で市民は関係ない」という認識の方が圧倒的に多いです。よって、例えばフードロス問題など、市民の日常生活こそ SDGs に直結することを具体的に学習できるような内容が望ましいと思います。
- ・初ズームで最初音が聞こえなくて焦りましたが、何とか中嶋さんのお話はお伺いできて何よりでした。私も自分にできることを探して初めてみます。キーワードは、健康・福祉・平和でしょうか。SDGs。前に話して頂いた原田さんのように半径 100 メートルでのつながり目指して頑張ります。

8 振り返り

- ・オンライン参加の申込者に欠席が 1 名あったが、19 名の参加者があった。
- ・ゲストスピーカーの資料の画面共有が上手く機能しなかったり、音声断線したり音量不足になったりと見づらい、聞きづらい場面が多々あり、オンライン参加者に疎外感を与えてしまった。
- ・画面共有に使用した資料が、オンラインに不適な形式で準備されたものであったことから、度々、中断することになった。
- ・会場参加者、オンライン参加者共に双方向でやり取りする機会を持てたことは有意義であったが、時間的な要因もあり消化不良を感じた勉強会となった。

以上

